

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
イラストレーション実習3 (1)											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60 (120)	単位	2 (4)
担当教員	井上奈奈			実務 経験	有	職種	画家/絵本作家				
担当教員紹介											
画家・絵本作家。京都府舞鶴市生まれ、東京都在住。 16歳のとき、単身アメリカへ留学、美術を学ぶ。武蔵野美術大学卒業。 国内外での個展やアートフェアにて作品発表を続け、近年は絵本作品を発表。2017年には著作の絵本『ウラオモテヤマネコ』『くままでのおさらい』の二作品が舞台化。2018年、絵本『くままでのおさらい』特装版がドイツライプツィヒにて開催された『世界で最も美しい本コンクール』にて銀賞を受賞。2021年作品集『星に絵本を繋ぐ』が雷鳥社より刊行。http://www.nana-works.com/											
授業概要											
※この授業では2種類の異なる目的の実習を60時間づつ設定し授業を実施します。 この授業では自己のイメージを一冊の絵本として表現することを学ぶ。自己を追求しつつ、絵本特有の公共性も取り入れながら作品制作をすすめる。課題の制作過程においては積極的に発案・コミュニケーションををすることで完成度の高い本作りを目指す。											
到達目標											
以下、二つを習得する 1. ストーリーの立案や構成力・製本技術・プレゼン能力を習得することを目的とする。 2. 表現力の向上・読者を意識し客観的に自分の作品を見る洞察力を養い、制作を計画的に進めていくスケジューリング力や、イメージを形にしてい くために他者に意図を伝達するコミュニケーション力を身につける											
授業方法											
前期を通して、1冊の絵本の完成を目的とし、物語制作、絵本独特の絵の描き方、製本の方法など、毎授業目標を設け習得していく											
成績評価方法											
プレゼン 20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度 60% 提出課題完成度を総合的に評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業中の受講態度には厳しく対応する 理由のない遅刻・欠席は認めない											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 持ち物については、各回にて指示する											
回数	授業計画										
第1回	絵本を知る 自己紹介を兼ねた絵本紹介 後半/絵本ワークショップ										
第2回	1年を通して作るテーマを見つける 物語作り→発表										
第3回	前半/本番の物語を制作する 後半/ラフ本作りを体験する										
第4回	前半→ラフ本制作→（随時個人面談） 後半→発表→講評										
第5回	前半/後半→ラフ本制作（随時個人面談 OKが出たひとから本番に）										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
イラストレーション実習3 (1)	
第6回	前半/後半→ラフ本制作（随時個人面談 OKが出たひとから本番に）後半 文字の入れ方を学ぶ
第7回	前半 本番制作 後半 途中経過報告→講評（随時個人面談）
第8回	前半 本番制作 後半 途中経過報告→講評（随時個人面談）
第9回	前半 表紙制作 後半 表紙文字の入れ方を学ぶ
第10回	プレゼン→講評
第11回	短い絵本を作る 前半 テキスト制作 後半 ラフ制作
第12回	本番制作
第13回	本番制作
第14回	本番制作
第15回	表紙制作 製本

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
イラストレーション実習3(2)											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60(120)	単位	2(4)
担当教員	ローガン ハザード			実務経験	有	職種	イラストレーター				
担当教員紹介											
ニューヨークで美術を学び、漫画家、フリーランスのイラストレーター、ファインアーティストとして活躍した経験を持つ。来日してからは大手広告会社のスタッフイラストレーターを経て、フリーランスのイラストレーターとして活動している。											
授業概要											
※この授業では2種類の異なる目的の実習を60時間づつ設定(AとB)し授業を実施します イラストの構図やデザイン理論、色彩理論などの高度なイラストスキルを学び、内容を表現する											
到達目標											
生徒は、絵の要素を巧みに組み合わせて視覚的に興味深いイラストを作成する方法を学びます											
授業方法											
すべてのクラスに理論が説明され、過去のマスターイラストレーターによる素晴らしいイラスト作品の例で示されます。その後、生徒はクラスや特別な課題を通じて学んだプロセスとテクニックを練習します。											
成績評価方法											
すべての練習課題の完了に加えて、クラスへの出席とクラスでの努力が最も重要です。											
履修上の注意											
生徒は、巧みなイラストを描くことを学ぶことに真剣に関心を持ち、改善するためにテクニックを練習する努力をしたいという願望を持っていることが不可欠です。											
教科書教材											
必要な参考資料はすべてクラスで配布されます											
回数	授業計画										
第1回	構図論理の基本										
第2回	構図論理：三段奥行き										
第3回	構図論理：線デザイン										
第4回	構図論理：明度										
第5回	構図論理：色彩										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
イラストレーション実習3(2)	
第6回	イラストプロセス：構図スケッチ
第7回	イラストプロセス：参考資料の使用
第8回	イラストのプロセス：下絵
第9回	イラストプロセス：カラースケッチ
第10回	イラストプロセス：最終的なイラストを完成させる
第11回	イラスト課題
第12回	イラスト課題
第13回	イラスト課題
第14回	イラスト課題
第15回	イラスト課題